

陳 情 文 書 表

受理番号	29第7号	受理年月日	平成29年5月22日
陳 情 者	[REDACTED]		
件 名	区民の声を直接聴取してから区議会で採決を行うように求める陳情		
<p><b>【陳情の趣旨】</b></p> <p>2015年末に鷹番3丁目の住民は3丁目21番の国有地に特養ホーム建設計画があることを突然知らされました。それは建設計画予定業者である社会福祉法人（以下、法人）の案内状によってでした。</p> <p>第一回目の説明会では建設計画の内容説明に加え、特養ホームの設計図をも提示され、既に可成り計画が固まっているという印象を受けました。この計画が実行されホームが建設されたならば、隣接する住民には生活環境の悪化が想定されるので、計画をそのまま受諾することはできませんでした。この第一回目の説明会以降、幾度か区の担当部署や法人のメンバーとは話し合いを重ねた結果、一年後の2016年12月には住民の意向も組み入れた設計計画を提示されました。</p> <p>しかし2017年1月に法人から特養ホーム建設計画を取り下げるとの連絡がありましたが、それ以降現在に至るまで、この国有地をどのように活用するのかに就いては、どこからも住民には連絡が無い状況が続いています。</p> <p>これらの経緯より、住民の生活に直接影響を及ぼす計画を立案する際には、住民の直接の声を計画決定の前に聞けば無駄・無理な作業を排除し、結果として住民との擦り合わせに時間を取られることも避けられると考えます。</p> <p><b>【陳情事項】</b></p> <p>目黒区議会における様々な案件の採決結果が近隣住民の生活に直接影響を及ぼすと考えられる時には、採決前に近隣住民に聴聞会などで直接発言の機会を与え、住民の声を参考にした上で採決を行うようにしてください。</p>			